

おんじゅく里山
MAP

布施村街道

発行：(社)御宿町観光協会
企画制作：布施村街道準備会
協力：御宿町商工会/NPO法人「おんじゅくDE元気」
発行日：2010年9月



おんじゅく里山

布施村街道

海の町御宿にも、豊かな自然と昔ながらの里山があります

この地はかつて布施村といいました

このマップを片手に、のんびり探訪してみませんか

1

坂下の泉



元々は井戸として生活にも使われていたこの泉は、後に特に大きな山をよっているわけではないのですが、ほとんど枯れることなく滴れ落ちています。某TV番組の取材の折に水質検査が行われ、名水百選にも選ばれている「熊野の泉」に、勝るとも劣らずとお墨付きを得ています。ヴォルピックに象徴される軟水で、軟らかく自然な甘さの水は、お茶や珈琲の味を引き立たせる事は勿論、近年お水取りのスポットとして広がりがつつあります。無償でお水を頂けますが、泉の上にある祠に感謝の参拝をするのがエチケットかな。

2

吉田庭園



3

川間山「長慶寺」(曹洞宗)

Tel:0470-68-5057



1295年真言宗として開山。本尊は十一面観音だが秘仏となっています。マスコミの世界から仏道に転じた25代現住職は、その広い人脈を通じて定期的に落語名人会を開催したり、音楽会や勉強会を企画して地域の交流の場にもなっています。毎月第四土曜日には座禅会が開かれ、地域の老若男女が禅にひたむきに取りくんでいます。その日以外でも希望があれば対応してくれるそうです。住職の御子息の古川卓さんと煌ご夫妻は、新進アーティストとして活躍しており、そのファミリーを含めて「ONJUKU まるごとミュージアム」のおなじみです。

4

実谷山「圓蔵寺」(天台宗)

Tel:0470-68-5109



しい顔の薬師如来が座っています。一段高い土手に上がると眼下に実谷部落が広がり、ここもまさに里山だを実感させてくれます。毎月般若心経と和讃の会が開かれており、申し込んでおけば写経も出来るそうです。

5

鶏卵牧場

Tel:0470-68-2631

http://onjukufarmresort.web.fc2.com/



二十数年前から、「庭先たまご」のネーミングで都内の高級たまご売り場をリードした鶏卵牧場です。昭和歌謡の流れる広いスペースでひら飼いされる鶏は、ストレスもなく元気なたまごを生んでいます。場内では国産牛の肥育も行われ、安全・安心のたまご・食肉の他に、地元野菜の直売所や食育・環境教育の場としての取り組みもスタートしました。将来的には、多くの人たちが楽しめる「観光牧場」を指向しているそうです。

6

カッテンマ (ギャラリー)

Tel:0470-68-5548

http://www.cat2enma.jp



閉じられていた古民家をギャラリーとして目覚めさせた、くつろぎといやしの空間です。冬期をのぞく、月はじめ1週間と‘まるごとミュージアム’期間だけオープンするギャラリーですが、オーナーのキャリアーとセンスで選ばれた作家達の、陶磁器やガラス、漆器、染織といった作品を中心に展示販売されます。古民家のゆっくりと流れる時間の中で、日常使いのものからアート作品まで、オーナーの人柄に触れながら楽しめます。不定期ですが個展も開かれますので、電話で確認の上お出かけ下さい。

7

大地牧場

http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Apricot/1273/



牛乳生産の大地牧場は、年々飼育頭数の拡大を続けていましたが、狂牛病が世間を震撼とさせたのを契機に現社長が、オーガニック飼料だけの飼育に大転換。牧舎の周りに広がる広大な牧草地上で草をはむ、おだやかな目をした牛たちとの出会いは、何所か異郷を思わせます。今では日本トップクラスのオーガニック飼育牧場として視察者が多いのですが、作業の邪魔にならないよう、牧舎の外から見学下さい。

8

マーサファーム

Tel:090-5323-0350

http://www.matha-farm.com/



牛の牧場に隣り合わせで、馬の飼育をするマーサファームがあります。初心者でも引き馬で乗馬体験ができますし、少し慣れてくると、周りの田んぼ道のトレッキングも楽しめます。乗馬をしなくても、人なつこい数頭のアラブやサラブレッドが心を和ませてくれますし、ポニーや山羊とのふれ合いも子供連の人気です。

9

愚為庵 (農家レストラン)

Tel:0470-68-5927

http://www.daichi.nu



築200年と言われる茅葺きの庄屋宅をほぼ昔のままに使った農家レストランで、近郷の旬な野菜や魚介を中心に、女将手作りの雅流懐石として提供しています。愚為庵を取り囲む大地(おおち)農園は、音楽プロデューサーだったオーナーが、平成元年にUターンして拓いた農園で、今ではいちごと合鴨農法の無農薬田んぼとして援農体験も受け入れています。就農希望の相談にも乗ってくれますが、食事は完全予約制ですので要注意。

10

幸七 (手打そば)

Tel:0470-68-5220



この家の主の経歴も稀なり。星の消えない早朝に家をして、満天の星を仰ぎながらの帰宅。東京までの遠距離通勤16年も含め、経験した職業は10指に余る。そして生来のそば好きがとり着いたのが手打ちそば。先祖伝来二百有余年の自宅古民家を改築して始めたそば屋は、今では行列の出来る有名店です。店の周りに広がる畑ではソバの栽培も手掛け、収穫時のソバ刈り応援隊(そばかりたい)もすっかりお馴染みとなり、布施で収穫した蕎麦を自家製粉した「布施もり」が味わえる季節を待ちこがれるファンも多い。また、納屋を本格的なギャラリーにリニューアルし、田舎の日常とアートを結びつけて提供している。(例年、蕎麦の花は9月中頃からが見頃です)

11

宝蔵山「真常寺」(曹洞宗)



807年真言宗として空海開基と伝えられる。途中火災により記録消失がありますが、16世紀に入って曹洞宗に改宗、現在に至る。本尊は阿彌陀如来立像。境内にある虚空蔵菩薩は関東三大虚空蔵とも言われ、毎年3月13日に催される虫封じは、県内各地からの幼児を連れた参詣客でにぎわい、植木商やテキ屋屋台が軒を連ねたものです。虚空蔵菩薩像は秘仏とされていて直接拝顔出来ませんが、いつかご開帳あるを期待されます。

12

青木家 (ギャラリー&食事処)

Tel:0470-68-2457



この地域は新宿(にいじゅく)と言い、旧布施村では新しくできた集落という程度の意味でしょうか。集落の家々の屋号が、麴屋、油屋、畳屋、鍛冶屋、伊万里屋、提灯屋、床屋など、商いを表すような家々が並んだ中に青木家があります。この青木家は元々が旅館でしたが、先代が亡くなってから閉じられたままで、100年前の茅葺き住宅を借り受けたオーナーが、ギャラリー&食事処にリニューアルオープンしました。喫茶や石焼きビビンバ等韓流家庭料理を中心とした食事処ですが、普段使いや、いやし系器の展示販売と、地域の作家の作品展示も引き受けています。(定休日は火曜日)

13

七本神社



天津神五柱と国津神七柱の計十二神を合祀する十二天神と呼ばれていたが、明治5年に七本神社と改称し地区の産土神となった。うっそうとした森はないが、鳥居の脇にあるマキの大木や、太いスダジイの洞から生えた椎の若木を見ると、やはり長い時間の流れを感じる。拝殿は江戸中期で、向拝(拝殿前部)は明治初期の再建ではないかと推定され、向拝の彫り物は十代唐四郎(江戸末期から明治の名工)作で、拝殿前部梁の浮き彫りは波の伊八の兄弟子嶋村清兵衛ではないかと推定される。

14

山神社



大山祇命(おほやまづみのみこと)を祭った山神社は1170年の創建とされている。境内に続く階段を上ると、左手にそびえる杉の大木にも圧倒されるが、社殿左手奥の一段下がったところにそびえる椎(スダジイ)の大木は、樹齢不明ながら神社の歴史をしのばせる偉容を保っています。

15

八幡神社



真常寺境内に同居する様に建つ神社は、かつての神仏混淆の名残か。別のところにあった社をこの地に移し、その社を覆うために茅葺きの建物をかぶせた鞘堂で、その茅葺きの屋根今の様式に改築している。内部には、奉納された江戸から明治に掛けての絵馬が多く掲げられ、町の貴重な指定文化財として登録されている。その多くは格子戸呉しに見ることが出来る。祭神は菅田別命(ほんだわけのみこと)で応神天皇だそうです。